

## 親愛なる購読者の皆さまへ

チェスには自信がありますか？

インドには、国際レーティングを持つ3歳の子どもがいて、あなたを圧倒してしまうかもしれません。今号の『ロータリー』誌では、地球上で最もチェスに熱中している国とも言われるインドをご紹介します。インドのロータリークラブが、チェスへの情熱をいかに教育の機会拡大や人々のつながりづくりに生かしているかを、ぜひお読みください。

こちらをクリックして、2026年2月号のデジタル版をお読みください。

[https://magazine.rotary.org/rotary/february\\_2026/MobilePagedReplica.action?pm=2&folio=Cover#pg1](https://magazine.rotary.org/rotary/february_2026/MobilePagedReplica.action?pm=2&folio=Cover#pg1)

平和構築やポリオ根絶に力を注いでいないとき、2026-27年度ロータリー会長のオラインカ・ハキーム・ババローラは、スキューバダイビングのことを考えているかもしれません。今号の特集のひとつでは、「インカ(Yinka)」の愛称で親しまれる次期会長の素顔に迫ります。

また、2月はロータリーの平和構築と紛争予防月間です。「グッドウィル」欄では、元ロータリー平和行動グループ議長が、**ポジティブ・ピースの8つの柱**がロータリーの他の重点分野における取り組みを支え得るかどうかを考察します。さらに「Where are they now?(その後)」のコーナーでは、ドイツ、デンマーク、スウェーデンで難民の人々がIT分野の仕事に就くことを支援する学校を設立したロータリー平和フェローを紹介しています。

記事のアイデアをお持ちですか？

[magazine@rotary.org](mailto:magazine@rotary.org) までお気軽にお知らせください。気に入った記事があれば、**共有(Share)**機能を使って、ご友人や同僚にアクセスを送ることもできます。また、雑誌のウェブサイトでは、共有しやすい形式で一部記事や限定コンテンツもご用意しています。

## 音声で楽しみたい方へ

『Rotary Voices』ポッドキャストでは、誌面の優れたストーリーの音声版に加え、ボーナスインタビューを含むフルエピソードもお届けしています。ぜひご登録のうえ、お楽しみいただけましたら高評価やレビューをお願いします。

敬具

ロータリー誌 編集部